



調布オープン小学生ドッチビー大会2026
報告書



1.大会概要

名称：調布オープン小学生ドッジビー大会2026

日時：2026年8月9日（日）9:00-17:00

場所：調布市総合体育館

〒182-0011 東京都調布市深大寺北町2-1-6 5

電話042-481-6221

主催：一般社団法人日本ドッジビー協会(DBJA)

共催：調布市

協力：調布市ドッジビー協会

協賛：文化シヤッター株式会社、株式会社ラングスジャパン、京王電鉄株式会社

2.調布市総合体育館



(概略地図)



(調布駅前)

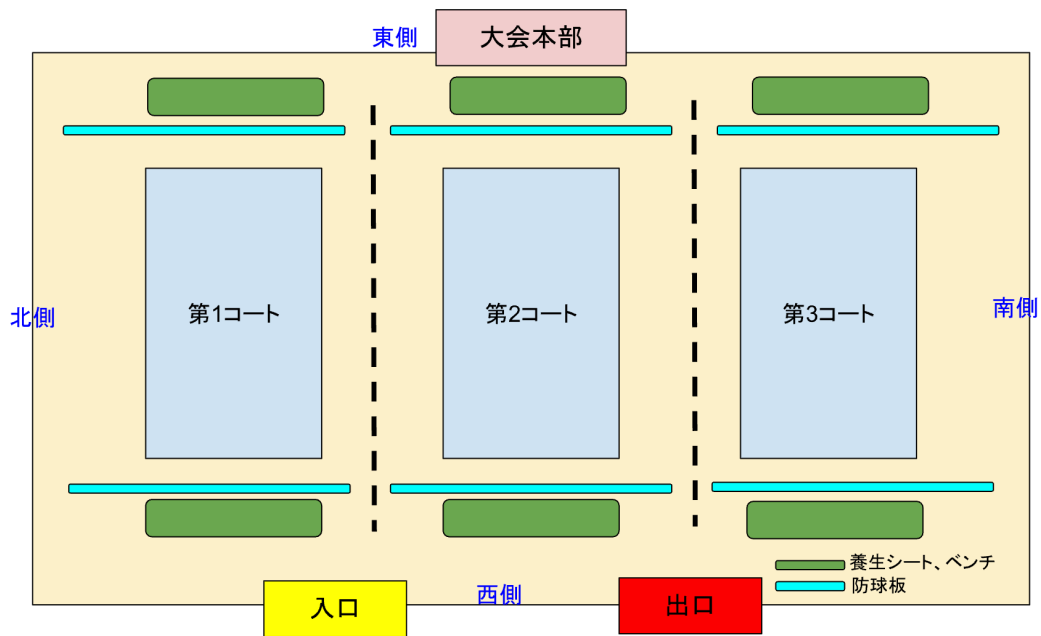


(調布駅前)

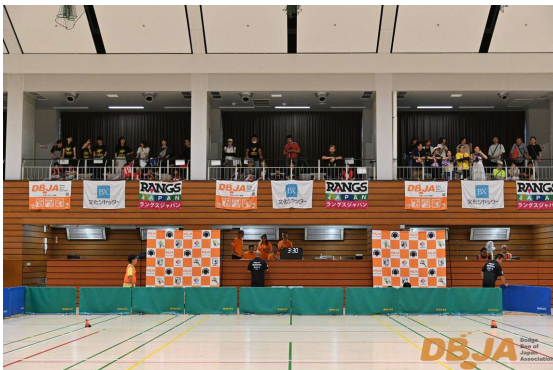


(総合体育館前)

3.会場アリーナ図



4.観客席



(出入口側)



(応援中)

5.来場者数

選手	239名
同伴指導者/応援者	300名 (約)
スタッフ/来賓等関係者	30名
合計	570名 (約)

6.対戦組み合わせと競技方法

(1)予選リーグ（全40試合）

Aリーグ～Dリーグで各5チーム、合計20チーム参加

	チーム名	登録選手数
A1	ドリーム☆ファイターズnext	10名
A2	染地リトルスター	11名
A3	若葉小X	10名
A4	石原ブラックサンダー	10名
A5	たま川ロケッツ	11名
B1	ウエストシックス	11名
B2	上ノ原エース	11名
B3	たま川アローズ	15名
B4	若葉小ビアンキ	11名
B5	国領ゴリラパワー	14名
C1	M.D.C. ペディ	10名
C2	北ノ台タンポポーズ	16名
C3	若葉小Y	12名
C4	深大寺ベアーズ	15名
C5	石原おにぎりボンバー	10名
D1	ドリーム☆ファイターズ	10名
D2	いしわらっこ	11名
D3	染地カワセミ軍団	16名
D4	上ノ原スター	11名
D5	北ノ台ダンデライオン	14名



(ドリーム☆ファイターズnext)



(染地リトルスター)



(若葉小X)



(石原ブラックサンダー)



(たま川ロケッツ)



(ウエストシックス)



(上ノ原エース)



(たま川アローズ)



(若葉小ビアンキ)



(国領ゴリラパワー)



(M.D.C. ペディ)



(北ノ台タンポポーズ)



(若葉小Y)



(深大寺ベアーズ)



(石原おにぎりボンバー)



(ドリーム☆ファイターズ)



(いしわらっこ)



(染地カワセミ軍団)



(上ノ原スター)



(北ノ台ダンデライオン)

(2)順位決定トーナメント (全26試合)

各予選リーグ上位3チームで構成されるチャンピオンシップトーナメント

各予選リーグ4位と5位チームで構成されるフレンドシップトーナメント

(3)試合形式 1チーム10名 (元外野は3名配置)

-1.予選リーグ 前後半、各3分30秒

予選リーグは勝点制とし、同点は引き分けとして順位を決定

勝利チーム3点、同点チーム1点、負け0点

<順位決定の優先権>

①勝点の多いチーム

②直接対決

③総得点の多いチーム

④ディスクフリップで決着

-2.トーナメント 前後半、各3分30秒

同点の場合には延長戦とし、延長戦は2分間、延長時間の経過を待たず、内野プレーヤーの2名がアウトになった時点で2名アウトのチームが敗退となります。2分経過した時点で延長戦は終了となり、アウトの人数が多いチームが敗退、同点の場合

合にはキャプテンのディスクフリップにより勝敗を決めます。（3位決定戦、決勝は前後半3分30秒の延長戦）

今大会は昨年度から引き続き、「ドッチビーマインド」を以下のように宣言し、年齢や性別などを問わず誰もが一緒に楽しむための想いや心構えを選手、関係者、審判団で共有して進めました。今大会内でも、このドッチビーマインドをよりコートで体現していただいたチームへ「ドッチビーマインドアワード」を表彰するため、各試合終了後に審判団が各項目について評価し、大会全体を通した総合的な点数によって受賞チームを決めさせていただきました。



(参加賞)



(参加賞)



(優勝メダル)



(ドッチビーマインドアワード)

7.開会式の模様



(開会式)



(DBJA代表挨拶)



(谷戸様ご挨拶)



(調布市長挨拶代読)

8.予選リーグ結果

■Aリーグ■

	チーム名	A1	A2	A3	A4	A5	順位
A1	ドリーム☆ファイターズnext		14 - 9	17 - 2	15 - 7	9 - 10	2
A2	染地リトルスター	9 - 14		16 - 7	11 - 10	8 - 14	3
A3	若葉小X	2 - 17	7 - 16		8 - 16	7 - 14	5
A4	石原ブラックサンダー	7 - 15	10 - 11	16 - 8		12 - 10	4
A5	たま川ロケット	10 - 9	14 - 8	14 - 7	10 - 12		1

■Bリーグ■

	チーム名	B1	B2	B3	B4	B5	順位
B1	クエストックス		10 - 10	10 - 7	3 - 17	3 - 12	3
B2	上ノ原エース	10 - 10		10 - 14	8 - 14	4 - 13	5
B3	たま川アローズ	7 - 10	14 - 10		4 - 16	8 - 12	4
B4	若葉小ビアンキ	17 - 3	14 - 8	16 - 4		10 - 8	1
B5	国領ゴリラパワー	12 - 3	13 - 4	12 - 8	8 - 10		2

■Cリーグ■

	チーム名	C1	C2	C3	C4	C5	順位
C1	M.D.C. ベディ		13 - 4	12 - 5	12 - 7	1 - 16	2
C2	北ノ台タンポポーズ	4 - 13		13 - 9	11 - 10	2 - 18	3
C3	若葉小Y	5 - 12	9 - 13		17 - 8	2 - 17	4
C4	深大寺ベアーズ	7 - 12	10 - 11	8 - 17		5 - 14	5
C5	石原おにぎりボンバー	16 - 1	18 - 2	17 - 2	14 - 5		1

■Dリーグ■

	チーム名	D1	D2	D3	D4	D5	順位
D1	ドリーム☆ファイターズ		17 - 0	18 - 0	15 - 8	13 - 7	1
D2	いしむらっこ	0 - 17		5 - 17	7 - 16	4 - 17	5
D3	染地カワセミ軍団	0 - 18	17 - 5		10 - 11	2 - 16	4
D4	上ノ原スター	8 - 15	16 - 7	11 - 10		1 - 17	3
D5	北ノ台ダンディオン	7 - 13	17 - 4	16 - 2	17 - 1		2

■ Aリーグ ■

接戦を制したのはたま川ロケッツ（3勝1敗）。ドリーム☆ファイターズnext（同じく3勝1敗）との直接対決を10-9で制し、僅差でリーグ1位。染地リトルスター、石原ブラックサンダーの勝点は同点でしたが、直接対決の結果（11-10）により3位は染地リトルスター。大混戦のリーグとなった。

■ Bリーグ ■

若葉小ビアンキが4戦全勝で1位。特に対ウエストシックス戦は17-3の大差をつけるなど、攻撃力が高かった。2位の国領ゴリラパワーも3勝1敗と好成績を残したが、若葉小ビアンキとの一戦(8-10)を落としたのが響いた。上ノ原エースは1分3敗と苦戦。

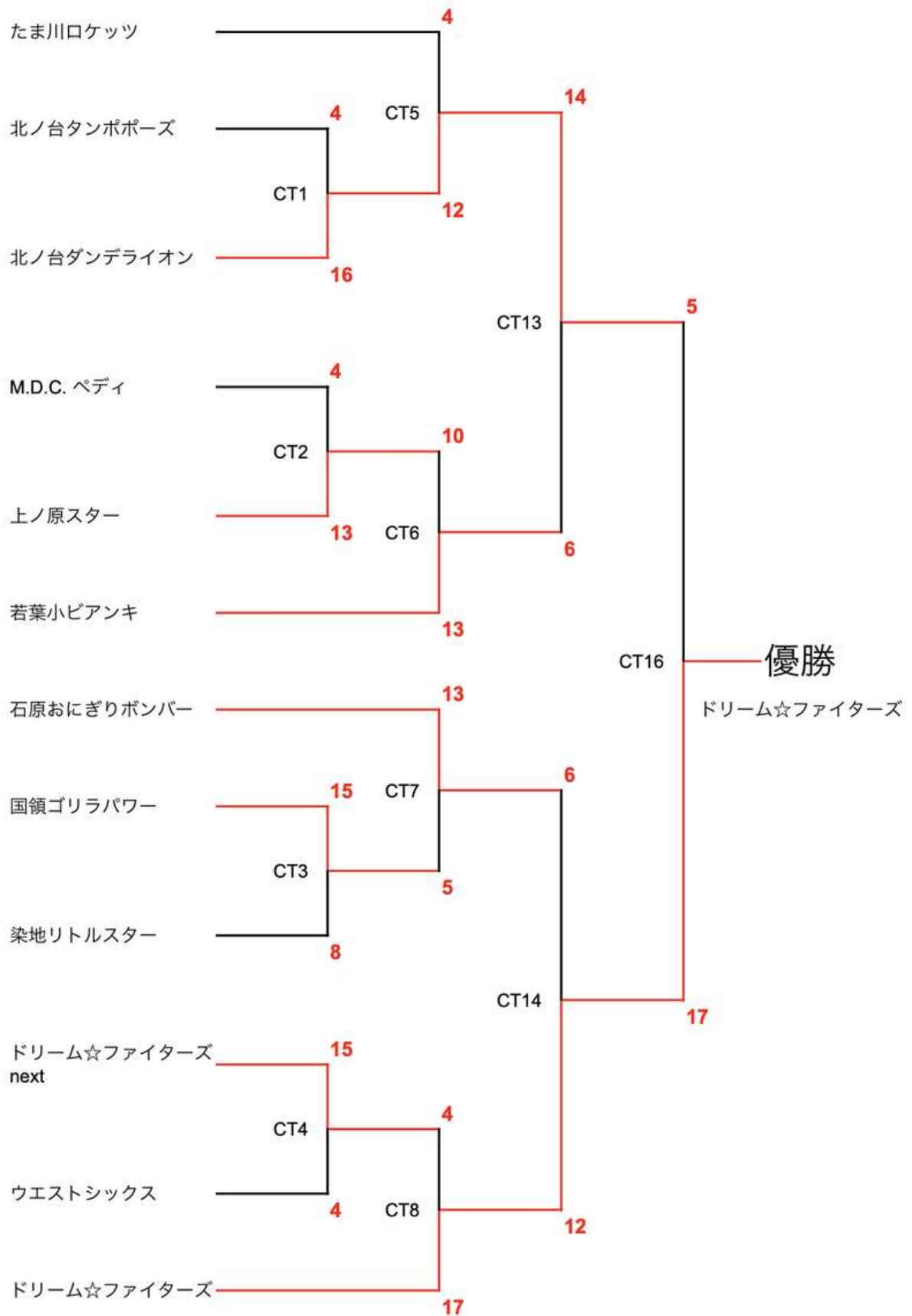
■ Cリーグ ■

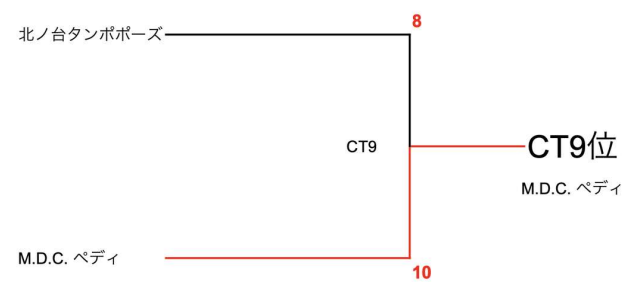
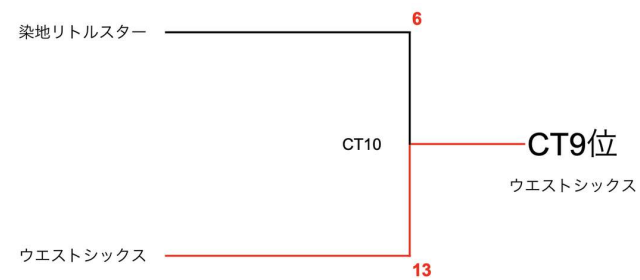
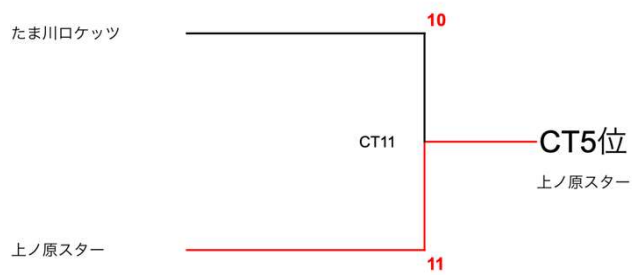
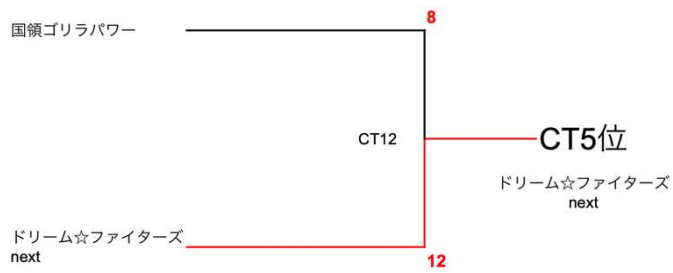
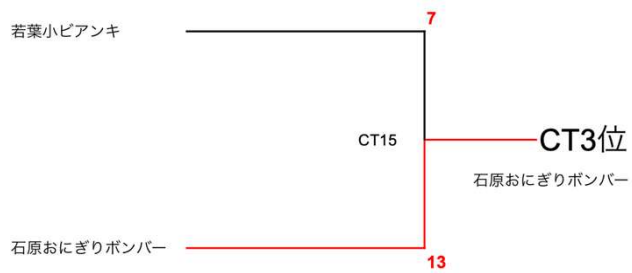
石原おにぎりボンバーが全4試合で2桁得点差をつける圧勝劇（16-1、18-2、17-2、14-5）を演じ、危なげなく1位。M.D.C.ペディが3勝1敗で追ったが、石原おにぎりボンバーとの直接対決(1-16)を少しでも競り合いたかった。

■ Dリーグ ■

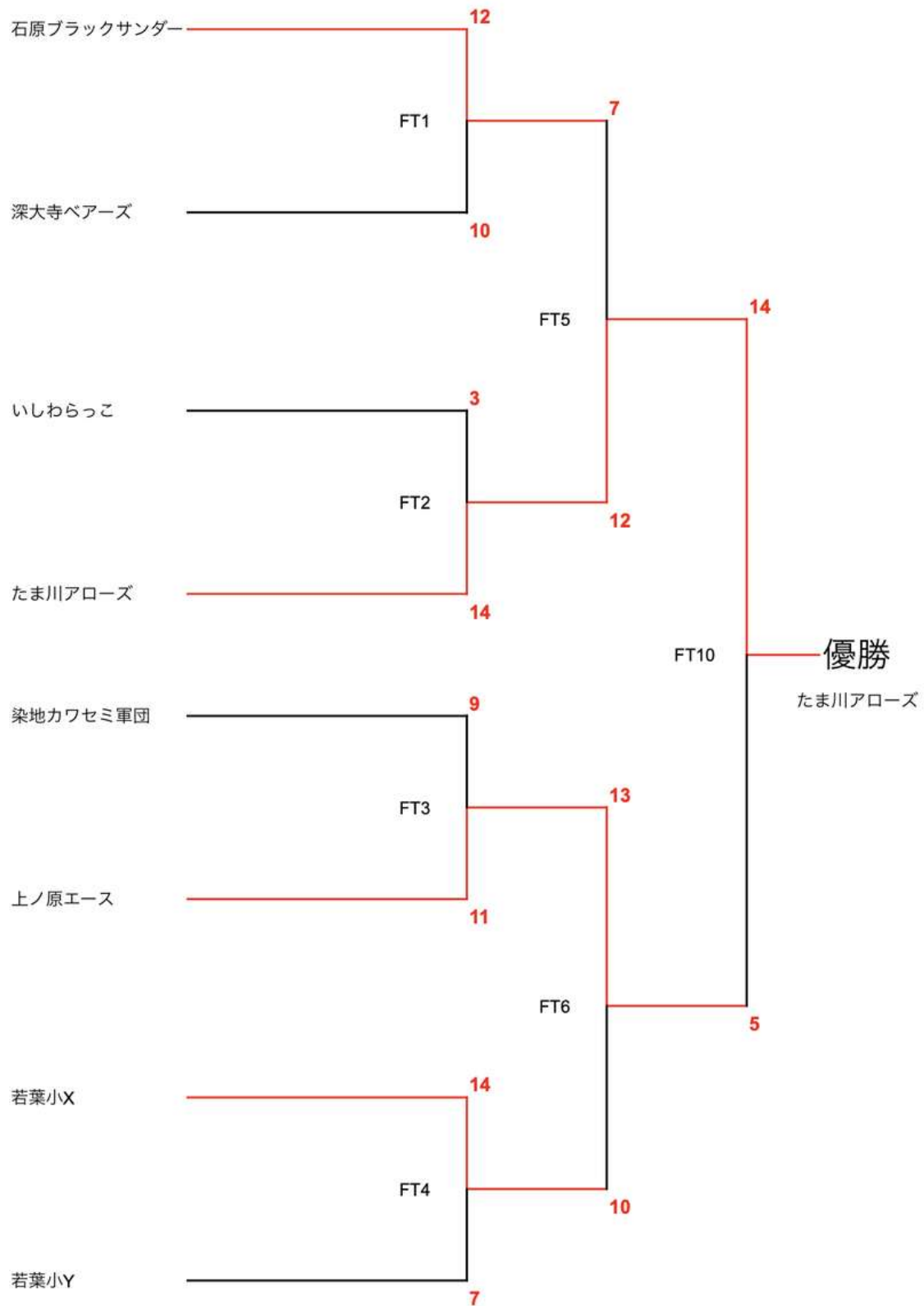
最も強烈な印象を残したのがドリーム☆ファイターズ。17-0、18-0を含む4戦全勝・大量得点差で他を圧倒し、リーグ随一の強さを見せつけた。2位の北ノ台ダンデライオンも3勝1敗で健闘。

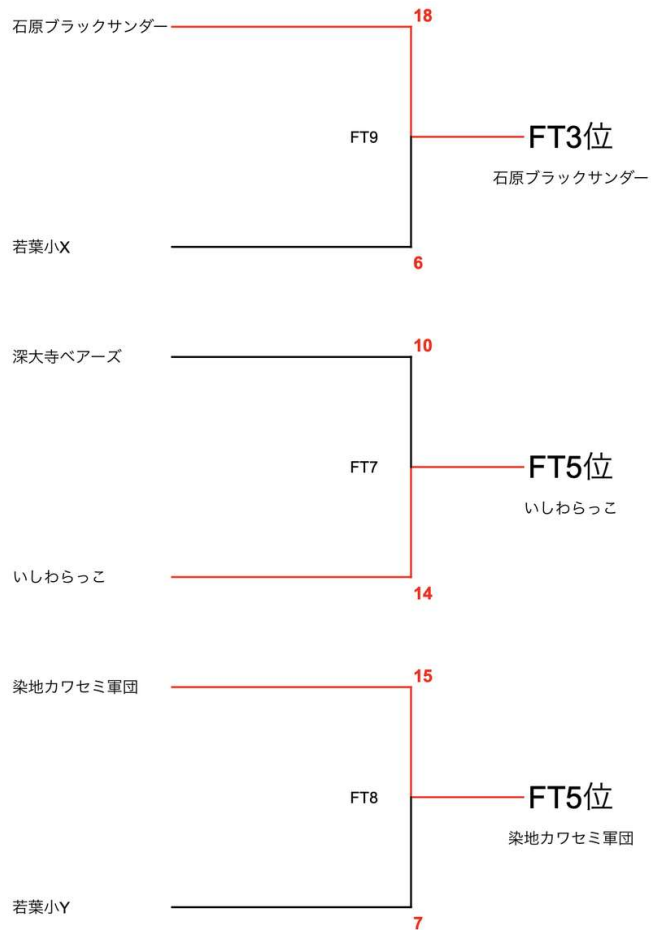
9.チャンピオンシップトーナメント結果





10.フレンドシップトーナメント結果





★大会概要映像★

<https://youtu.be/YG4Fp1zmQfQ?si=Bc-FeEXxVhSx7EH1>



=リーグ戦、激闘の末にチャンピオンシップトーナメント出場12チーム決定=

A・B・C・D、4つのリーグで熱戦が繰り広げられた予選ラウンド。各リーグ上位3チームが頂点を目指すチャンピオンシップトーナメントへ進んだ。

Aリーグは「たま川ロケッツ」が首位で駆け抜け、「ドリーム☆ファイターズnext」「染地リトルスター」が続いた。Bリーグの王者は「若葉小ビアンキ」。Cリーグでは「石原おにぎりボンバー」が圧倒的な強さを見せ、そしてDリーグは「ドリーム☆ファイターズ」が制した。それぞれのリーグを勝ち抜いた12チームが、優勝をかけて対戦していくことになった。

Aリーグを制した「たま川ロケッツ」は、初戦で登場した「北ノ台ダンデライオン」(Dリーグ2位)にまさかの4-12で準決勝進出を譲ってしまった。

その「北ノ台ダンデライオン」は勢いそのままに勝ち上がり、準決勝ではBリーグ王者「若葉小ビアンキ」を14-6で敗り。リーグで2位のチームが決勝へ進んだ。

一方、下側のブロックでは「石原おにぎりボンバー」がCリーグ2位「M.D.C.ペディ」らを敗り勝ち上がるも、準決勝でDリーグ王者「ドリーム☆ファイターズ」の前に6-12で敗れた。

決勝は「北ノ台ダンデライオン」と「ドリーム☆ファイターズ」。奇しくもどちらもDリーグからチャンピオンシップトーナメントに進み、2位と1位というまさかの組み合わせとなった。

リーグ戦を首位で通過した「ドリーム☆ファイターズ」。準決勝の勢いそのままに決勝でも力の差を見せつけ、17-5で優勝した。

=フレンドシップトーナメント、たま川アローズが1位=

各リーグの4位・5位とリーグ戦では悔しさを味わったが「フレンドシップトーナメント」での奮闘を期待、8チームにトーナメントの緊張感を味わってもらえた。

石原ブラックサンダー 12-10 深大寺ベアーズ わずか2点差。最後まで目が離せない戦いを制したのは石原ブラックサンダーだった。

たま川アローズ 14-3 いしわらっこ この日、最も鮮烈な勝利。たま川アローズが圧倒的な攻撃力だった。

上ノ原エース 11-9 染地カワセミ軍団 一進一退の攻防を、最後は上ノ原エースが勝ち切った。

若葉小X 14-7 若葉小Y 同じ「若葉小」の兄弟対決は、若葉小Xが勝利。

たま川アローズ 12-7 石原ブラックサンダー 準々決勝を大差で勝ち上がった勢いそのまま、たま川アローズが石原ブラックサンダーに勝利した。

上ノ原エース 13-10 若葉小X 上ノ原エースが再び僅差をものにし、接戦突破で決勝進出を決めた。

そして迎えた決勝。準々決勝・準決勝と二試合続けて二桁得点を叩き出してきたたま川アローズの勢いは、最後まで止まらなかった。粘りで勝ち上がってきた上ノ原エースも食い下がったが、点差は開く一方。試合終了のホイッスルと同時に、たま川アローズ 14-5 上ノ原エース、たま川アローズの選手たちが歓喜の輪を作った。

11.講評

大会にご参加・ご協力いただき、誠にありがとうございました。

大会を通じて、選手たちが熱い戦いを繰り広げてくれたことが、大会成功を何よりも物語っていました。審判やスタッフの皆様も、手に汗握りながら真剣に試合を見守ってくださいました。大きな事故や怪我もなく、無事に大会を終えることができましたのは、サポートいただいた保護者の皆様のご協力あってのことと感じております。今回の大会から選手に自主性を持ってプレイしてもらうことを目指し、ゲーム中の指示・指導を控えて頂くように致しました。ゲームに帯同した指導者や関係者の方々の協力もあり、選手の意思でゲームをコントロールしているチームもありました。今後も継続していきながら、選手の自主性を高めていけることに挑戦していきたいと思います。

また、調布市ドッチビー協会の皆様、そして調布市小学生ドッチビー大会の出場経験者の方々には、本部運営、審判、招集、駐車場整理など、多岐にわたりご支援をいただきました。調布市総合体育館のご利用経験を踏まえた的確なアドバイスや、当日の臨機応変な対応は、大会成功に欠かせないものでした。

さらに、大会にご協賛いただきました文化シヤッター株式会社様、株式会社ラングスジャパン様、京王電鉄様のお力添えにより、大会を大いに盛り上げていただきましたことに、心より御礼申し上げます。

来年度以降も、調布市をはじめ、地域の皆様からのご支援をいただきながら、より良い大会へと発展させていけるよう、連携を深めてまいりたいと思います。